

寒い日々が続いていますが、皆様お元気ですか？

ついこの間正月を迎えたばかりだと思ったら、あっという間に1か月が過ぎてしま
い、千代田會館の開所日が徐々に近づいて参りました。

今回の開設準備室だよりでは、小規模多機能ホームの職員に求められる資質につい
て、少し述べていきたいと思ひます。

小規模多機能型居宅介護の基本方針

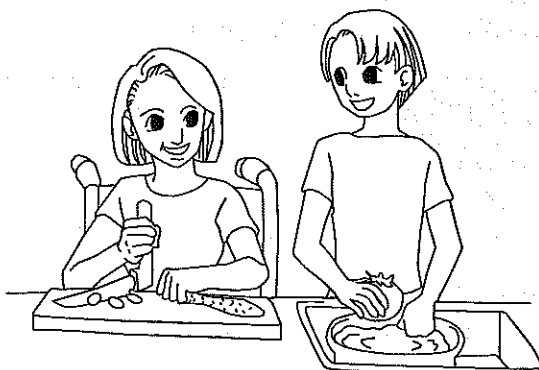
少々堅苦しい文章ですが、介護保険法に定められ
た小規模多機能型居宅介護の基本方針をご覧にな
ってください。



「要介護者について、その居宅において、又はサービスの拠点に
通わせ、若しくは短期間宿泊させ、当該拠点において、家庭的な環
境と地域住民との交流の下で、入浴、排せつ、食事等の介護その他
の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者がその
有する能力に応じ、その居宅において自立した日常生活を営むこ
とができるようにするものでなければならない。」

〔平成十八年三月十四日 厚生労働省令第三十四号〕

出来ない事ではなく、出来る事を見つける



従来型の介護サービスでは、ご利用者の
出来ない事に注目した介護を行いがちで
した。例としては「Aさんは一人では調理
ができません。だから介護職員が食事を作
ってあげましょう」といったケースです。

しかし、小規模多機能ホームではご利用
者の出来る事に着目した支援を実施する
ので「Aさんは一人で調理することは困難
ですが、職員と一緒に料理ができるので、

小規模多機能ホームでの調理の機会を増やしましょう」などと、「ご利用者の有
する能力を活かした支援」が実践し易い環境があります。その環境を活かす為にも、
職員が手際よく介護を行ってしまうよりも、ご利用者の有する能力を発見し、急かさ
ずに能力を引き出すことができる「発見し、待つ勇氣」を持った職員が小規模多機能
ホームに求められます。

有する能力を活かしやすい小規模多機能ホーム

小規模多機能ホームは、従来型の介護サービスに比べ、ご利用者の有する能力を活かし易い環境があります。

①一緒に買い物や食事作りを行う

小規模多機能ホームは、ご利用者と職員と一緒に食材の買出しや調理を行います。

一人では食事作りが困難になった方でも、お米を研いだり、野菜の皮を剥くなど、一つ一つの作業を職員が丁寧に説明し、見守り支援を行えば、その人の有する能力を活かす機会が増えます。また「お米の研ぎ方が上手ですね」「野菜を切ってくれて助かりました」などと感謝の言葉を多く伝えることで、自信や生きがいを取り戻すきっかけが作れます。介護職員は自分の能力をアピールすることよりも、ご利用者の出来る事を見つけ、その能力を活かす能力が求められます。



②急かさないう見守り支援を行う



「サービス提供時間」に縛られないことが、小規模多機能ホームの長所の一つです。従来型の介護サービスでは〇時〇分までに〇〇と〇〇をしなければならないという制約があった為、ご利用者が一人で出来ることを介護職員がしてしまったり、急かして慌てさせ、不安にさせてしまった結果、認知症の周辺症状(昔は問題行動と言いましたが…)を誘発させてしまう要因になっていました。

時間に追われない介護ができれば、ご利用者がご自身で出来ることも増え、「自分にもできることがある」と自信を持つことが、ご利用者の心身に良好な影響を与えることとなります。介護職員は短時間に多くの作業をこなす事よりも、ご利用者のペースに歩調を合わせ、不安を取り除き、安心させる平静さと思いやりや気配りが求められます。

③事前にリスクを理解し説明する

従来型の介護サービスでは、ご利用者の有する能力を活かすことよりも、転倒骨折などの介護事故を起こさないことが重視された結果、自宅では一人でトイレに行ける方でも、施設では職員が介助してしまい、結果として「有する能力を活かす機会」を職員が奪ってしまったり、あたかもご利用者を「監視」しているような雰囲気を作っていました。

小規模多機能ホームでは、事前にご利用者やご家族に対し、有する能力を活かす為には転倒骨折等のリスクが高まることを説明することによって、職員が過剰な介護に走らない環境を作ります。

介護職員は、ご利用者の心身機能を見極めたうえで、ご利用者ができることはご自身で行って戴く、「待つ勇気」「安易に手を出さない勇気」が求められます。



介護マメ知識（人を理解するということ）

医療技術の進歩とともに、認知症の研究も進んできました。ところが、断片的に知識を学んだ介護職員が「この人は〇〇型認知症だから、〇×△だ」などと、あたかも認知症になると、その人の人格が病気によって全て左右されるかのような判断を下す場面を見受けることがあります。認知症の知識によって確かに傾向を推察することはできますが、本質的に認知症の方を理解する為には、その人の性格や過去の体験、生活環境を理解することが大切です。

〔認知症は専門医でも見極めが難しい病気です。認知症が疑われる場合まずは認知症専門医に相談しましょう〕

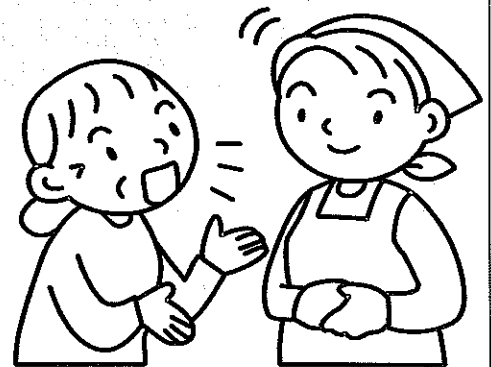


人は、他人を理解しようとする際に、自分自身の価値観や経験を基準にして相手の気持ちを理解しようとします。また一つのことに気がつくと、それにとらわれてしまいやすいのが人間の心理です。介護職員が自分自身の知識や過去の事例にとらわれてしまい、目前のご利用者や家族の気持ちを正確に理解できなくなることも、このような人間の心理によるものです。

ご利用者の気持ちを理解する為には、自分の知識や経験を過信せず、下記のような対応が重要です。

- ①地道に相手の話しに耳を傾ける。
- ②誠意ある対応で信頼関係を築く。
- ③こまめにコミュニケーションを取る。
- ④相手を理解しようという努力をし、あきらめないこと。

このような地道な対応ができることが、介護職員に求められています。



人々の手本となるようなケアを！

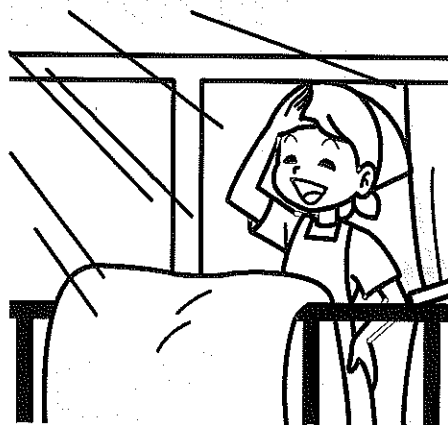
介護の仕事は理想や収益だけを考えるのではなく、さまざまな要因をバランスよく対応する能力と、安心できるサービスを継続的に提供することが求められます。

小規模多機能ホームという一つの事業所内で「通い」「宿泊」「訪問」のサービスを提供しながら、ご利用者の有する能力を活かす為に「買物」や「調理」を一緒に行っていくことは、介護職員に多くの能力を求めることとなります。

東京都内には何千箇所もの福祉事業所がある中で、小規模多機能型居宅介護は約30か所しかなく、制度化されてまだ日も浅い状況です。それだけに、近隣住民や関係機関からの注目が大きく、小規模多機能ホームを担う介護職員の一挙手一投足が注目されますが、やりがいもあります。

社会福祉法人ケアネットは、小規模多機能ホームという新しい事業を担うことで、法人全体の介護能力を向上させることを期待しています。その為に、小規模多機能ホーム倶楽部千代田會館では、熱意ある介護職員を募集しています。

決して豊富な介護経験や知識を求める訳ではありません。介護の仕事が未経験であっても、ご利用される方の有する能力を活かし、自分自身の為ではなく、人々の為に貢献したいという熱意が何よりも大切なのです。



介護の仕事は決してキツイ仕事ではありません。誇りのある仕事であると私たちは考えています。

私たちと一緒に、新しい介護のかたち創っていきませんか？
熱意のある方、介護の仕事に興味のある方、お待ちしております。

小規模多機能ホーム倶楽部千代田會館の職員募集窓口

社会福祉法人ケアネット法人本部（特別養護老人ホームやよいほうむ内）

〒164-0013 東京都中野区2-42-2

TEL：03-5342-0820 FAX：03-5342-0920

URL：<http://www.yayoi-home.com>【「社会福祉法人ケアネット」と検索して下さい】

【採用担当：事務長 鈴木富美代】

募集職種：常勤介護職員、契約介護職員、非常勤介護職員

常勤看護職員、非常勤看護職員 ※各職種とも夜勤・宿直有り

社会福祉法人ケアネット 倶楽部千代田會館 開設準備室

〒164-0013 東京都中野区弥生町5-2-19（デパートセンターふじみ苑内）

TEL：03-3382-0566 FAX：03-3382-0529（担当：山田康彦）

URL：<http://www.yayoi-home.com>【「社会福祉法人ケアネット」と検索して下さい】